

成人学級 3回目 相模原の歴史

月 日	令和7年1月29日(水)
時 間	9:30~11:30
会 場	相模台公民館 大会議室
主 管	相模台公民館成人学級運営委員会

昨年「縄文時代の相模原」について学んだことから、引き続き平安時代までを市立博物館学芸員の長澤さんから教えていただきました。相模台地区には人が住んでいた形跡は見当たりませんが、相模原全体には古墳や住居がたくさんあることがわかりました。博物館から土器を持ってきていただき、みんなで手に取って、土器の違いや人々の暮らしに思いを馳せました。



相模原には古墳や住居跡が流れの緩やかな川近辺にたくさんありました。



平安時代になると、渡来人によって技術が入り、現在の器と同じようです。



本物の土器を手に取って、須恵器と土師器の違いを確認しました。ロクロや表面を削った形跡があります。高台がついている器もありました。



博物館考古担当学芸員の長澤有史さん
旧石器～縄文時代が専門です。